

事前評価調書

I 事業概要																																			
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																																		
地区名	うまがいけ 午ヶ池地区																																		
事業箇所	半田市岩滑西町																																		
事業のあらまし	<p>本地区は、半田市の中央部に位置しており、東午ヶ池、西午ヶ池は、地域のかんがい用ため池として重要な役割を果たしている。</p> <p>しかし、堤体の耐震性不足や洪水吐の排水能力不足により、万一、決壊した場合には、下流の人家や公共施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、早急に地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊被害による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p>																																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：408.0mm/日、1/200年確率雨量）</p>																																		
事業費	事業費		内訳																																
	2.7億円		■工事費 2.4億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円																																
事業期間	採択予定年度	2020年度	着工予定年度	2021年度	完成予定年度	2025年度																													
事業内容	<p>（東午ヶ池）堤体工、緊急放流施設工 各一式</p> <p>（西午ヶ池）緊急放流施設工、取水施設工、洪水吐工 各一式</p>																																		
II 評価																																			
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本地区のため池は、農業用ため池として地域の重要な役割を果たしているが、堤体の耐震性不足や、洪水吐の流下能力不足により決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体・洪水吐の改修や緊急放流施設の設置により、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>必要能力</th> <th></th> <th>東午ヶ池</th> <th>西午ヶ池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">堤体の耐震化</td> <td>安全率</td> <td>現況</td> <td>0.930</td> <td rowspan="2">能力有</td> </tr> <tr> <td>1.2以上</td> <td>計画</td> <td>1.220</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急放流施設の整備</td> <td>放流時間</td> <td>現況</td> <td>106.09</td> <td>277.50</td> </tr> <tr> <td>24h以内</td> <td>計画</td> <td>20.13</td> <td>22.32</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td> <td rowspan="2">計画排水量 (m³/s)</td> <td>現況</td> <td rowspan="2">能力有</td> <td>9.46</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>12.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015年9月農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは1.61であり、基準値の1.0を超えており、効果が期待できる。</p>						必要能力		東午ヶ池	西午ヶ池	堤体の耐震化	安全率	現況	0.930	能力有	1.2以上	計画	1.220	緊急放流施設の整備	放流時間	現況	106.09	277.50	24h以内	計画	20.13	22.32	洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	能力有	9.46	計画	12.09
		必要能力		東午ヶ池	西午ヶ池																														
	堤体の耐震化	安全率	現況	0.930	能力有																														
		1.2以上	計画	1.220																															
	緊急放流施設の整備	放流時間	現況	106.09	277.50																														
		24h以内	計画	20.13	22.32																														
	洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	能力有	9.46																														
			計画		12.09																														
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p>																																
		【理由】	<p>堤体の耐震性不足や、洪水吐の流下能力不足等により、ため池決壊の危険性が高いことから、本事業により災害の未然防止を行うことが急務であるため。</p>																																

②事業の実効性	1) 事業計画		2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計	
	工種 区分	調査・設計		←→						
		用地補償			←→					
		東午ヶ池	・堤体工		←→		←→			
			・緊急放流施設工			←→				
		西午ヶ池	・緊急放流施設工						←→	
			・洪水吐工					←→		
	事業費（億円）			1.9				0.8	2.7	
	2) 地元の合意形成	本地区は土地改良法に基づく申請事業であり、地元の合意形成が図られている。								
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。							
【理由】		事業計画に無理がなく、地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。								
III 対応方針										
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。									
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容										
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その効果により評価する。事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。										